



# ガット

東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

## 12月号

発行：  
東村山市民  
テニスクラブ協議会  
会長 川路 俊一



<http://www.higashimurayamatennis.com/>  
<http://www.higashimurayamatennis.com/i.html>

☆市民テ忘年会開催

期日：12月12日(土)

時間：17:30 受け付け開始  
18:00 ボーリング開始  
19:30 宴会開始

場所：久米川ボウル  
会費：3,500円  
ボーリングの後に宴会です。ボーリングのみ、あるいは宴会のみの参加でもOKです。

☆U字溝の清掃を2回行います。期日は12月12日と19日の土曜日です。いずれも時間は9:00~12:00となっています。多くの方のご協力をお願いします。

☆新入会員のオリエンテーションが11月7日にスポーツセンターで開催されました。各クラブの新入会員の数は下記の通り。

	一般		家族		ジュニア		合計
	男	女	男	女	男	女	
萩山	3	1	0	0	1	3	8
青葉	6	0	0	0	1	0	7
栄	2	2	1	1	1	0	7
諏訪	1	5	1	1	0	2	10
美住	1	1	0	1	0	0	3
合計	13	9	2	3	3	5	35

☆年末年始のコートについて  
年末は27日まで運動公園コートが確保されています。年始については1月9日からの使用となります。1月2日、3日の両日 10:00~15:00 西武ドームの室内コートを確保しましたので、ご予約下さい。なお、恒例の久米川での初打ち・写真撮影は1月10日、前半スクールの終了後、10:00に行いますのでご参集下さい。

☆総会の開催

本年度の総会を2010年1月24日(日)に開催します。時間は15:30~17:15 場所はスポーツセンター大会議室

運営委員会 11月7日 15:30 スポセン

☆コート整備について

今年度の9月までの前期の整備作業委託費の242,592円が市から入金された。来年の3月末までは市との契約が残っているので、引き続きコート整備の請負を継続します。来年度については市としては随意契約では透明性が確保できないことなどから、公開入札も視野にいれている模様。運営委員会としてはコート状況をこれ以上悪化させないために市民テとしてはコート整備作業の委託を来年度も継続して受ける意思のあることを確認した。

☆会計部より

水曜日ナイターにビジターとして参加した方は、ビジター費を12月18日までに本部会計に払い込んで下さい

☆各部の活動

- ・萩山  
村高練習会 6日(日) 午前  
12日は市民テ忘年会の幹事役です。17:00までに現地集合。  
19日、久米川「庄や」で総会開催。
- ・青葉  
村高練習会 5日(土) 午前  
総会&忘年会 19日(土)、詳細は別途連絡。
- ・栄 特になし
- ・諏訪  
村高練習会 6日(日) 午後
- ・美住  
26日 西武ドーム練習会(アウトドア3面) 13:00~16:00  
19:00から 総会兼忘年会 中国料理「一翠」

### 12月のコート

村高コート		
5日	午前	青葉
6日	午前	萩山
	午後	諏訪

年末の久米川コートは24日で閉鎖となります。

	5(土)	6(日)	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	23(水)	26(土)	27(日)
7-9	A,B,C	-	A,B,C	-	A,B,C	D,E	A,B,C	A,B,C	A,B,C
8-9	-	1,2,3	-	1,2,3,5	-	1,2,3,5	1,2,3,5	-	-
9-11	1,2,3,5	1,2,3	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	A,B,E	C,D
11-13	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	A,B,D,E	-
13-15	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	A,D	B,C,D,E
15-17	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	C,D,E	B,C,D,E

数字は久米川コート、アルファベットは運動公園コート

『ガット』関連のリクエスト・お問い合わせは ⇒ 編集責任者 萩山クラブ 古村浩三 [kkoldvillage@gmail.com](mailto:kkoldvillage@gmail.com) まで

《柳杯特集》

第13回となった、今年の柳杯は11月23日の勤労感謝の日に西武ドームコートで開催されました。前日は冷たい雨が降り、体感温度が極端に下がる状況で、クレイコートの使用が危ぶまれましたが、当日は朝から太陽がまぶしいくらいの晴天で、クレイコートの状態は文句の付けようがない、すばらしいコンディションに仕上がっており、気温も上がり、絶好のテニス日和となりました。



開会式前の模様

朝8時の集合から2部の決勝戦が終わって撤収が完了したのはすっかり陽が落ちた午後5時半を過ぎる頃でした。計画から当日の運営を行った運営委員の皆様大変ご苦労さまでした。愛甲運営委委員長の司会で8時30分に開会式が開始され、小武海実行委員長の開会宣言、川路会長の挨拶、昨年1部優勝の青葉クラブ、2部優勝の萩山クラブから優勝カップの返還、運営委員の紹介、開催要項の説明、そして小松山技術部長先導のストレッチを行い、小武海実行委員長の閉会宣言で開会式は無事閉幕となりました。

今大会ではこれまでと同様、1部と2部に分かれ、それぞれで優勝を争いました。1チームはミックスダブルスの3ペアで構成され、先に2勝を獲得したチームが勝利となると言う形でした。

1部ではまずA、Bリーグに各クラブから1チームずつ、合計10チームがエントリーされました。2部はC、D、E、Fの4つのリーグに合計12チームのエントリーとなりました。

1部はA、Bリーグともに総当たりの予選ラウンドを行い、それぞれのリーグで最も勝ち星が多かったチームがリーグを代表して決勝戦に進みました。決勝戦はその2チームによって争われ、「萩山Bチーム」が「諏訪Aチーム」を2-1で下して優勝しました。初戦を簡単に落とした萩山は、2戦目で劣勢を土壇場でひっくり返して息を吹き返し、最終戦は両ペアが十分に持ち味を出し合った好試合でしたが、若手男子とベテラン女子の萩山ペアが爽やか夫婦ペアの追撃を凌いで栄冠を獲得しました。

2部は、各リーグで総当たりの予選ラウンドを行い、上位2チームが決勝トーナメントに進出しました。そこで決勝戦まで進んだのは諏訪Cと諏訪Dチームで、決勝戦ではDチームが接戦をものにして優勝を飾りました。

今大会は諏訪クラブの活躍が大いに目立った大会となりました。特に、諏訪Aチームは好敵手揃いのチーム相手に、ねばって、ねばって接戦を制した事は大いに称賛に値するものでした。来年は、他のチームがどのような対応を見せるか注目される所です。2部の戦いでも、諏訪チームは着実に勝利をものにして、同じクラブの仲間同士の決勝戦にまで持ち込んだ事は快挙とも言えるでしょう。その原因はチーム編成が上手く言った事、および各試合でのオーダーの組方が的を射ていた、つまり監督采配が見事であったと言う事でしょう。これについても、他クラブがこれを教訓に来年の大会では、どのような作戦を練って来るのか関心が持たれるところです。

とは言え、柳杯の基本コンセプトは皆で、和気あいあいとテニスを楽しむと言う事がベースであり、覇権を争うのが究極の目的ではありません。要は、参加者が、この大会を通して、テニスの楽しみを感じ、新たに、様々な人との関わりを持って、今後の市民テの活動に生かしていく事です。今年残念ながら参加できなかった人たちも是非、来年は参加して楽しい時間を送って欲しいと思います。今回、西武ドームコートの全面を使用すれば、どの程度の試合数の大会が、どの位の時間内で運営できるかもはっきり把握できたので、それを来年の実行プランに生かしていく事が肝要でしょう。

2部の優勝と準優勝のチームメンバーは次の通りです(敬称略)。

優勝：諏訪Dチーム 釜付 功(監督) 男子 明 孝夫 伊藤 一男 若林 尚昭 石原 啓五  
女子 梅野 茜 遠藤 照枝 釜付 礼子 永倉 里美

準優勝：諏訪Cチーム 安彦 藤作(監督) 男子 田畑 学 浜 良一 松村 庄一 小武海 一喜  
女子 平井 知代子 伊藤 春美 金丸 アツ子 小松 恵子



運営委員の紹介



1部優勝：萩山Bチーム

後列左から 阿部 眞一郎、小松山 隆、小泉 聡  
前列左から 竹内 貴子、新沼 美智代(監督)、古村 和子



1部準優勝：諏訪Aチーム

後列左から 西村 拓治、木村 宏(監督)、永倉 誠  
前列左から 仙波 明子、西村 由紀子、小島まこと、吉川 真

編集後記：柳杯も終わり、今年の行事は忘年会を残すのみとなりました。1年が経つのは早いものですネ。新年は2日から西武ドームコートが確保されています。そして初打ち・撮影会は10日です。また総会は24日開催です。今から予定に入れて置いて下さい。 萩山クラブ 古村 浩三



狙いはこの優勝カップ



まずは、開会式から



ウォーミングアップを兼ねて



陽だまりの中での昼食風景



すがすがしいアウトドアコート



目に馴れが必要なインドアコート



試合の運行表



試合の進行に気を配る運営委員の面々